

1. 生活の省エネルギー推進のための情報提供・普及啓発事業

(1) 住宅のエネルギー使用合理化推進事業～スマートライフ「住」推進事業～

新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(住宅のエネルギー使用合理化推進事業～スマートライフ「住」推進事業～)

[資源エネルギー庁:受託事業]

住宅のエネルギー使用合理化を推進するため、住宅の断熱化やエネルギー使用の状況等、住宅の省エネルギーに関する実態把握や情報収集を行い、その成果を広く情報提供しました。

1) 住宅の省エネルギーに関する意識調査の実施

過去3年以内に戸建てを新築またはリフォームした方10名に対し、事前アンケート及びヒアリングを行い、新築やリフォームのきっかけ、家造りにおけるこだわりの内容と採用手法、こだわり実現のための手法の決定要因、情報収集の方法、施工業者の選択、費用等について、調査・分析を実施しました。

2) 住宅の省エネルギー性能等に関する実態把握

関東地域の既築住宅51件の断熱性能やエネルギー使用の実態等を、現地計測、ヒアリング等により把握し、調査対象住宅の断熱性能、省エネルギーリフォームの提案、それに要する金額等を報告書としてまとめるとともに、調査対象者の省エネルギーリフォームに対する意欲度等についてアンケート調査を行いました。

3) 省エネルギーリフォーム訴求用DVDの作成

住宅の省エネルギーリフォーム促進のための具体的情報をまとめたDVDを500部作成し、リフォーム業者や住宅の省エネルギーリフォームのシンポジウム出席者等へ配布しました。

4) 海外先進事例調査の実施

海外の先進的な省エネルギー住宅、建築物、都市の事例、実態について現地調査を行い、日本の住宅の省エネルギー化促進を検討するための参考としました。

- ・実施期間：平成18年11月20日～11月25日
- ・調査対象国：ドイツ、スイス

5) 省エネルギーリフォーム促進のためのシンポジウムの開催

- ・テーマ：知って納得。リフォーム講座 ～スマート+快適な住まいを目指して～
- ・開催日：平成18年12月16日
- ・開催場所：東京ビッグサイト 会議棟
- ・対象：一般消費者、リフォーム事業者
- ・内容：住宅の悩みの原因やリフォームによる解決法等について紹介しました。

6) 省エネルギー住宅設計コンペティションの開催

建築専攻の学生を対象とした「省エネルギー住宅設計コンペティション」を開催し、住宅設計における省エネルギー性を考慮する必要性、重要性の認識、具体的学習の機会を提供しました。優秀な作品を選出し、表彰式、作品発表会等を開催しました。

- ・応募作品数：35件
- ・入選作品数：9点（優秀賞3点、佳作5点、審査委員奨励賞1点）
- ・表彰式（東京会場のみ）、作品発表会の開催：
 - 東京会場：平成18年12月9日 参加者数55名
 - 大阪会場：平成18年12月17日 参加者数45名

(2) 未来指向型省エネ住宅の推進に関する調査

新エネルギー等導入促進基礎調査(未来指向型省エネ住宅の推進に関する調査)

[資源エネルギー庁:受託事業]

住宅の省エネルギー化促進のために、躯体の断熱性能と高効率な設備・機器を備えた未来指向型省エネ住宅において環境にやさしい住まい方をすることを“ロハス”な“ハウス”と提案し、「ロ・ハウス」構想として普及・促進していくこととし、“建てる”、“選ぶ”、“住まう”という観点から調査を行いました。調査結果を基に、「ロ・ハウス」推進検討会にて、必要な施策の在り方について検討（8回開催）し、検討結果を報告書にまとめました。また、公開ワークショップを開催するとともに、目指すべき省エネ住宅のコンセプトを提示した上で、一般消費者を対象にアンケートを実施し、更に実効的な検討の参考としました。

○ロハスなハウス「ロ・ハウス」についての公開ワークショップ

- ・開催日：平成19年2月2日
- ・開催場所：東京ビッグサイト ENEX展東京会場 イベントステージ
- ・来場者数：168名

○展示

- ・展示期間：平成19年1月31日～2月2日
- ・展示場所：東京ビッグサイト ENEX展東京会場
- ・アンケート有効回答数：1,413件

(3) 住宅におけるエネルギー使用に係る実態調査及び情報提供

住宅におけるエネルギー使用に係る実態調査及び情報提供事業

[独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO):受託事業]

NEDOが平成13年度から実施してきた「住宅におけるエネルギー使用に係る実態調査及び情報提供事業」の調査結果を基に、平成18年度には、エネルギー表示器の市場実態・動向調査、アンケート調査等を行い、エネルギー表示器の普及策を検討し、報告書にまとめました。平成18年度の調査結果と平成13年度から実施してきた住宅におけるエネルギー使用に係わる実態調査事業の成果について、成果発表会を開催しました。

○成果発表会

- ・開催日：平成18年10月4日
- ・開催場所：西新宿ホール（東京）
- ・参加者数：246名

(4) 高効率エネルギー利用型建築物改修モデル事業

[高効率エネルギー利用型建築物改修モデル事業費補助金(高効率エネルギー利用型住宅システム改修基盤高度化事業に係わるものに限る。)]

世帯の属性や保有機器、ライフスタイル別に、どのようなアドバイスが省エネルギー効果を高めるものになるかについて、関東及び関西地区の世帯より152世帯のモニターを選定し、電力・ガス計測器を設置して、具体的に電力量、ガス量を計測するシステムを構築しました。また、省エネルギー効果を計測するための分析システム及びデータ収集・報告のためのWebシステムを作成しました。

本事業は、2分の1補助事業として、電力（東京電力株式会社、関西電力株式会社）、ガス（東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社）、住宅（積水ハウス株式会社）等の各企業との連携、協力の下に実施しました。

○モニター世帯

東京、大阪圏内（東京電力株式会社、関西電力株式会社、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社エリア）に居住し、インターネットを使用している世帯より、152世帯を選出しました。

地区	計	電気ガス計測 モニター	電気計測 モニター	(太陽光発電 計測モニター)
関東	75	23	52	(6)
関西	77	28	49	(13)
計	152	51	101	(19)

○計測器

- ・電力量計測－省エネナビPS02型

家庭の電力量全体を計測する大元のセンサーと、個々の家電製品を計測する個別センサーで計測しました。

- ・ガス量計測－自動計測通信システム

通信機能のある新ガスメーターを設置し、通信機を電設器に設置し、自動的に電源回線を通してデータ収集を行いました。

(5) ENEX2007(第31回地球環境とエネルギーの調和展)の開催

[自主事業]

国民各層の省エネルギー意識の高揚と普及啓発を促進するために、最新のエネルギー技術・機器・システム・設備、地球環境保全に寄与する機器、リサイクル等も含めて紹介する「ENEX2007」を省エネルギー月間(2月)の主要行事として、東京、大阪の2会場において開催しました。

今回は、会場内を、「スマートライフエキスポエリア」、「エネルギーソリューションエリア」で構成しました。主催者企画展示として、映画「不都合な真実」特別企画展や、「省エネピックアップコーナー」として、東レ株式会社、大手町・丸の内・

有楽町地区再開発計画推進協議会、三菱地所株式会社、東日本旅客鉄道株式会社フロンティア研究所等とコラボレーションし、最新の省エネルギー・新エネルギーの情報提供を行いました。

また、「第8回(平成18年度)地球環境と資源エネルギーを大切にする国民運動全国集会(主催:地球環境と資源エネルギーを大切にする国民運動全国会議)」、「アジア太平洋パートナーシップ(APP)・省エネルギー電気機器普及のための市場づくりに関するワークショップ(主催:電機電子温暖化対策連絡会)」、「第5回省エネルギー技術コンファレンス(主催:経済産業省)」、「国際バイオフェューエル会議2007(主催:独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)」等、多彩なセミナー、シンポジウム、国際会議等を実施し、情報提供の充実及び動員強化を図りました。

○ENEX2007の開催(総入場者数:72,499名)

会場	開催場所	開催日程	来場者数	出展団体・展示協力企業数	小間数
東京	東京ビッグサイト	平成19年1月31日～2月2日	50,818名	147社	415小間
大阪	インテックス大阪	平成19年2月22日～2月24日	21,681名	83社	277小間

(6) 「省エネナビ」名称使用機器登録募集

[自主事業]

当センターが開発した「省エネナビ」(エネルギー使用料金表示システム)普及の一手段として、省エネナビと同等の機能を有する機器を製造・販売する際に、「省エネナビ」という名称を商品名の一部に使用するための登録申請の受付を行いました。

登録に当たっては、仕様、機能等について審査し、登録を決定した機器は、当センターのWebサイト等で広報を行いました。登録メーカーは、平成19年3月31日現在で11社です。

(7) 生活の省エネルギー推進のための広報事業

[自主事業]

1) パンフレットの作成

家庭でできる省エネルギー行動を紹介したパンフレット「家庭の省エネ大事典」について、平成19年1月に、株式会社ヨドバシカメラと共同で150,000部を作成し、ヨドバシカメラ各店舗のほか、ENEX展、地方自治体等へ配布しました。

2) 大手町・丸の内・有楽町「夏休み!エコキッズ探検隊」の企画・運営

大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会及びNPO法人大丸有環境エリアマネジメント協会が主催する子供・親子向け環境セミナーの企画・運営を実施しました。「夏休みエコキッズ探検隊」として、環境壁新聞作り等の計6プログラムを平成18年8月に実施し、延べ220名の親子が参加しました。

3) 大手町・丸の内・有楽町「打ち水プロジェクト2006」の企画・運営

大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会及びNP0法人大丸有環境エリアマネジメント協会が主催する打ち水及び関連イベントの企画・運営を実施しました。平成18年8月に、大手町・丸の内・有楽町のエリア内の4箇所において、5回実施し、延べ1,100名が参加しました。

4) 「汐留エコウィーク2006」の実施

汐留地区街づくり協議会との共催事業として、平成18年11月13日～11月26日に、汐留地下通路において、環境イベントを実施しました。イベントには、キーコーヒー株式会社、汐留アーバンエネルギー株式会社、株式会社資生堂、全日本空輸株式会社、日本通運株式会社及び松下電器産業株式会社に参加しました。

5) その他の外部への協力

当センターが作成した「家庭の省エネ大事典」等のパンフレットを自治体等の約300箇所へ配布しました。また、当センター作成のパンフレットの引用依頼への対応や引用された書物の監修、その他、テレビ、ラジオ等への取材協力（約150件）を行いました。

(8) 各地区省エネルギーキャンペーン、省エネルギー交流セミナー等の運営

1) 夏及び冬の省エネルギーキャンペーン・冬の住まいの省エネルギー展

省エネルギー設備導入促進情報提供等事業

[北海道経済産業局:受託事業]

① 2006夏の省エネキャンペーン —あなたの夏の省エネをすすめてください—

エネルギー消費が増大する夏季の省エネルギー広報として、街頭キャンペーンを実施し、道民各層への省エネルギーの意識の普及に努めました。

- ・実施日：平成18年8月10日
- ・実施場所：JR札幌駅東コンコース
- ・実施内容：市民対象に、省エネルギーに関する呼びかけを行うとともに、パネルの展示、パンフレットやうちわ、液晶温度計等2,000部の配布を行い、省エネルギー意識の普及を行いました。

② 冬の住まいの省エネルギー展

—家族のために、地球のために、わが家の省エネ大作戦—

暖房用灯油の需要期に入る9月に、省エネルギー性能の高い暖房機器を始めとする家庭内のエネルギー消費機器を展示し、併せて、各種イベントや省エネルギー相談コーナーの設置等を通して、省エネルギー型ライフスタイルの普及と家庭における省エネルギー実践の普及促進を行いました。

- ・実施日：平成18年9月23日～9月24日
- ・実施場所：札幌コンベンションセンター 大ホール

- ・来場者数：1,012名
- ・実施内容：ステージイベントでは、省エネモデル校発表会、省エネクイズ大会、IH・エコクッキング教室、省エネセミナー、省エネビデオシアター、住まいの省エネ相談コーナー、アンケート調査、抽選会等を実施しました。また、主催者テーマゾーンでは、家庭で使用する各種機器の省エネルギー実践方法について、パネルで分かり易く具体的に「家庭の省エネ術」を紹介しました。さらに、協賛者ゾーンでは、住宅の省エネコーナー（北海道立北方建築総合研究所）、LPガスの省エネコーナー（社団法人北海道エルピーガス協会）、石油の省エネコーナー（石油連盟）、電気の省エネコーナー（北海道電力株式会社）、ガスの省エネコーナー（北海道ガス株式会社）において、各協賛者が推薦する省エネルギー機器や省エネルギー実践方法を詳しく紹介しました。

③ 2007冬の省エネキャンペーン ―ウチから始める冬の省エネ―

暖房等により最もエネルギー消費が増大する2月に、キャンペーンを実施し、道民各層への省エネルギーの意識啓発に努めました。

- ・実施日：平成19年2月4日
- ・実施場所：サッポロファクトリー アトリウム
- ・来場者数：1,027名
- ・実施内容：市民対象に、省エネルギーに関する呼びかけを行うとともに、ステージイベント（省エネクイズ、ジャグリング、ちびっこミニコンサート）の実施やパネルの展示、パンフレットや液晶温度計、Ecoキッチンペーパー等1,000部の配布を通じて、省エネルギー意識の啓発を行いました。

2) 省エネ普及促進キャンペーン

省エネルギー設備導入促進情報提供等事業(省エネ普及促進キャンペーン)

[中部経済産業局:受託事業]

エネルギー使用量の増大する冬季に、エネルギー問題の理解増進を図り、省エネルギーを推進することを目的として、消費者を対象とした街頭キャンペーン、イベントを実施しました。

- ・実施日：平成19年2月18日
- ・実施場所：金山総合駅 連絡通路橋 イベント広場
- ・実施内容：消費者を対象に、パネルの展示、リーフレットや液晶温度計等700部の配布を行い、省エネルギーを呼び掛けるとともに、省エネルギー意識アンケートを実施し、回答者には省エネルギー啓発用ノベルティグッズを配布しました。また、子ども連れや若年層向けに、「モリゾー・キッコロ」のキャラクターも交えての省エネルギー説明会を実施し、省エネルギーの啓発を行いました。

3) 省エネ普及促進キャンペーン

省エネルギー設備導入促進情報提供等事業(省エネ普及促進キャンペーン)

[中部経済産業局:受託事業]

冬の省エネルギー普及促進を図るため、JR金沢駅前において、街頭キャンペーンを実施しました。リーフレットやノベルティグッズの配布、省エネルギー意識アンケートの実施を行うとともに、「モリゾー・キッコロ」のキャラクターを活用した省エネルギー説明会、省エネルギー啓発パネル展示を行いました。

- ・実施日：平成19年3月3日
- ・実施場所：JR金沢駅前 もてなしドーム

4) 省エネルギーキャンペーン

省エネルギー設備導入促進情報提供等事業(省エネルギーキャンペーン)

[四国経済産業局:受託事業]

地球温暖化対策の重要課題である日常生活での省エネルギーを実現するために、エネルギー使用の増加する夏と冬に省エネルギーキャンペーンを展開し、市民レベルへの直接的な省エネルギーの呼びかけを行いました。

① 省エネサマーキャンペーン2006

- ・実施日：平成18年8月14日
- ・実施場所：阿波踊り演舞場
- ・実施内容：徳島の阿波踊りに「省エネルギー・地球温暖化ストップ連」として参加しました。横断幕を先頭に踊りながら、省エネルギーをPRするうちわを観客に手渡し、県内外から訪れた観光客に対し、省エネルギー実践への協力を訴えました。

② 省エネウインターキャンペーン2007

- ・実施日：平成19年2月24日～2月25日
- ・実施場所：サンメッセ香川
- ・実施内容：高松市内で開催された「エネルギー&エコロジー博覧会2007in四国」において、来場者に対し、省エネルギーに関するパネル展示、自転車発電機を使用した発電器具等の体験、省エネルギークイズや省エネルギー実験等を実施し、省エネルギー実践のPRに努めました。

5) 省エネ講座&省エネ設備導入施設見学会等

省エネルギー設備導入促進情報提供等事業(省エネ講座&省エネ設備導入施設見学会等)

[九州経済産業局:受託事業]

次世代の教育に携わる教育関係者及び地域で省エネルギー普及推進活動を行う個人または団体を対象に、省エネルギー交流セミナーを開催しました。本事業は、参加者のレベルアップとネットワークの構築により、参加者が次世代層や地域住民に対して行う省エネルギー普及推進活動の支援を目的に実施しました。

① 省エネルギー交流セミナーの開催

教育関係者（小・中学校教諭、教育委員会等職員）、NPO等地域活動団体、省エネルギー普及指導員等個人などを対象に、省エネルギーに関する講演・活動事例の紹介、省エネルギー設備導入施設見学、参加者による意見交換などを各会場で開催し、省エネルギー普及のための交流を図りました。

○省エネルギー交流セミナーの開催（参加者数合計：77名）

会場	場所	開催日	内容	参加者数
福岡会場	八重洲博多ビル	平成18年10月25日	基調講演 活動先進事例の紹介 意見交換会	39名
佐賀会場	アイスクエアビル	平成18年11月21日	活動先進事例の紹介 意見交換会 見学会:佐賀市役所	18名
鹿児島会場	城山観光ホテル	平成18年11月28日	活動先進事例の紹介 意見交換会 見学会:城山観光ホテル	20名

② アンケート調査、広報等

省エネルギー交流セミナーの福岡会場の開催に併せて、各県のオピニオンリーダーの代表を招聘し、現況・課題について意見交換会を実施しました。

セミナー実施時には、参加者の省エネルギー普及推進活動の現状把握及び今後の活動に対する意識付けとなるアンケート調査を行い、また、セミナー実施後の省エネルギー普及推進活動の実施状況を確認するフォローアップアンケート調査を行いました。

省エネルギーに関する小冊子を10,000部作成し、セミナー参加者等に配布し、また、セミナー実施状況やアンケート調査結果等をまとめたリーフレットを作成し、参加者、オピニオンリーダー、各教育委員会、関係機関等に配布しました。

さらに、セミナー参加者のネットワークを構築し、更なる省エネルギー普及推進活動の活発化を図りました。

(9) 省エネルギー教育推進事業

新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(省エネルギー教育推進事業)

[資源エネルギー庁:受託事業]

国民各層が、省エネルギーの必要性を認識する社会的な土壌を形成することを目的として、4事業を実施しました。

1) 省エネルギー教育推進モデル校事業

小・中学校の児童が省エネルギーについて理解し、実践する能力を養う機会の提供のために、小・中学校での「総合的な学習の時間」等で省エネルギー学習の実施を支援しました。平成16年度、17年度に認定の計191校の小・中学校がモデル校として、省エネルギー学習を実施しました。モデル校に対しては、教材、人材等の支援を通して、省エネルギー教育の浸透を図りました。なお、平成13年度よりモデル校として支援した小・中学校の累計は671校です。

○省エネルギー教育推進モデル校数

地区	支援校数 合計 (小・中学校)	支援校数の内訳	
		平成16年度	平成17年度
北海道	17	9	8
東北	22	11	11
関東	37	15	22
東海	12	6	6
北陸	10	4	6
近畿	26	17	9
中国	23	2	21
四国	11	9	2
九州	28	14	14
沖縄	5	4	1
合計	191	91	100

2) 省エネルギーコンクール事業

次世代を担う小・中学生の省エネルギー意識を高め、省エネルギー行動の習慣化・拡大化を目的に、ポスター部門及び実践部門の2部門の省エネルギーコンクールを実施しました。

① ポスター部門

全国の小・中学生から省エネルギーについてメッセージを託したポスターを募集しました。応募点数7,830点のうち、優れた作品として127点を表彰しました。地区最優秀賞、地区優秀賞、地区佳作は、全国8地区9会場で地区表彰式を行いました。

- ・最優秀賞2点、優秀賞3点、佳作10点
- ・地区最優秀賞(全国8地区)8点、地区優秀賞(全国8地区)24点、地区佳作(全国8地区)80点

② 実践部門

全国の小学生以上を対象として、省エネルギー実践体験のレポート、記録など省エネルギー実践行動のヒントや参考となる作品を募集しました。応募点数564点のうち、優れた作品として14点を表彰しました。

- ・優秀賞4点、佳作7点、審査委員特別賞3点

2部門ともに、最優秀賞、優秀賞については、平成19年2月に東京ビッグサイトで中央表彰式を行い、表彰作品については、ENEX展会場（東京・大阪）等にて展示を行いました。また、「平成18年度省エネルギーコンクール優秀作品集」（10,000部）を作成し、応募者等へ配布を行い、Webサイトにも掲載しました。

3) 省エネルギー教室事業

小・中学校における省エネルギー教育のきっかけ、動機付けを目的に、具体的な

体験学習として省エネルギー教室を実施しました。省エネルギー教室により、日常生活と密接に関わりのあるエネルギーを身近なものにし、省エネルギーの必要性について学んでもらいました。平成18年度は運営検討委員会を設置し、委員が事前ヒアリングのため各校を訪問し、各校の実情にあった実施内容を検討し、1校につき3回の省エネルギー教室を実施しました。

- ・開催場所：全国の小・中学校
- ・開催時期：平成18年7月～平成19年3月
- ・参加者：30校・2,283名

地区	開催校数	参加者数
北海道	1校	104名
東北	3校	313名
関東	8校	660名
東海・北陸	3校	136名
近畿	9校	758名
中国	-	-
四国	4校	143名
九州・沖縄	2校	169名
計	30校	2,283名

4) 省エネルギー普及のためのグッズ作成事業

夏季・冬季のエネルギー多消費時期に、国民に広く省エネルギー意識の高揚、省エネルギー活動の実践促進のために、ポスターやグッズを作成しました。

① ポスター

エネルギー消費機器の効率使用を普及促進するため、ポスター（夏季10,000枚、冬季11,000枚）を作成し、地方自治体、公益企業窓口等へ配布しました。平成18年7月の夏季のポスターテーマは「二十八度のすゝめ」、12月の冬季のポスターには「省エネルギーコンクール・ポスター部門」の最優秀賞作品を掲載し、「うちから始める冬の省エネ。」をテーマとしました。

② うちわ、温度計、リーフレット

夏季にはうちわ、温度計、リーフレットを作成し、冬季には温度計を作成し、各経済産業局で省エネルギーキャンペーン期間に実施されるイベント等で配布しました。

(10) 中学生向き「エネルギー教育用教材キット」の作成・配布

電源立地推進調整等事業(省エネルギーの教育推進事業(エネルギー教育用教材キットの作成))

[資源エネルギー庁:受託事業]

全国の中学生のエネルギー問題に対する関心を喚起し、理解を促進することを目的に、「エネルギー教育用教材キット」を作成し、全国の中学校3,993校に無償配布しました。

- 「エネルギー教育用教材キット」内容
 - ・エネルギー教育用映像教材（DVD&VHS）
 - ・3Dデジタル地球儀e-Globe21（CD-ROM）
 - ・バイオマス・エネルギー実験セット
 - ・燃料見本キット
 - ・教師用解説書&生徒用ワークシート（冊子+CD-ROM）

(11) 省エネルギー普及事業（実践行動推進、人材育成）

新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(省エネルギー普及事業)

[資源エネルギー庁:受託事業]

省エネルギー実践行動と省エネルギー効果を分析し、広報しました。また、省エネルギー普及活動を行っている方に対しては、省エネルギー知識と活動ネットワークの拡充を図り、普及活動を更に活発化し、省エネルギー実践行動を広く普及させることを目的として、本事業を実施しました。

1) 省エネルギー実践行動推進事業

省エネルギー行動の実践を促すため、エネルギー消費がリアルタイムに把握できる機器である「省エネナビ」を、オフィス・学校・自治体・地域において独自に省エネルギー活動を実施しているグループ等に設置しました（学校用50台、オフィス用250台、家庭用1,000台）。

平成17年度の省エネナビ設置分も含め、省エネナビのデータの収集等より、省エネルギー効果について調査を実施しました。省エネナビの設置時及び設置後に、アンケート調査を行い、設置前後の日常行動とデータとを分析し、省エネルギー効果の実態を把握しました。

○省エネナビの設置数、データ回収、省エネルギー率

項目	学校用	オフィス用	家庭用
平成18年度+平成17年度 省エネナビ設置数	202校 202台	327事業所 1,354台	2,096世帯 2,096台
省エネナビデータ回収数	94台	1,108台	1,060台
月平均の省エネルギー率	12%	2%	11%

併せて、家庭におけるエネルギー消費機器の使用方法和省エネルギー量に関する調査も実施し、その調査結果の情報提供を行いました。また、調理機器の使用方法により、どのくらい消費電力量が異なるのかを比較しました。

日常の省エネルギー行動を促すため、「省エネ実践チェック表」（通年版・冬版の各50,000部）を作成し、学校、自治体等の団体、普及指導員等の個人、省エネルギー関連イベント等で配布しました。また、一般に広く参加しやすいように、「省エネ実践チェック表」簡易版をWebサイトに掲載、周知し、参加者を集めました（Webサイト訪問者数：18,875名）。

さらに、「省エネ実践チェック表」の優秀実践事例を発表、表彰する「家族で省エネ大作戦」を開催し、広報活動を行いました。

○「家族で省エネ大作戦」（特別講演・事例報告会）開催

- ・東京会場：平成19年1月31日 参加者数：110名
- ・大阪会場：平成19年2月24日 参加者数：57名

2) 省エネルギー普及のための人材育成事業

各地域で省エネルギー普及活動を実践している方を対象に、省エネルギーに関する最新の動向等の講習、相互交流等を目的として、省エネルギー知識や普及方策に関する研修を開催するとともに、相互のネットワークの構築を図りました。

- ・開催時期：平成18年10月中（各地区：研修2日間）
- ・開催場所：全国22地区（札幌、仙台、酒田、新潟、さいたま、千葉、東京(2回)、横浜、静岡、名古屋、金沢、京都、大阪、神戸、広島、松江、高松、松山、福岡、大分、鹿児島）
- ・受講対象：民間団体、地方自治体、企業等の省エネルギー・省資源担当者等
- ・申込者数：666名
- ・修了者数：604名

また、本研修修了者のうち414名が、後述の(12)の当センターの「省エネルギー普及指導員」として登録を行い、今後、各地域での省エネルギー普及活動を推進していくこととなりました。

(12) 省エネルギー普及指導員の登録

[自主事業]

前述の(11) 2)の研修修了者からの「省エネルギー普及指導員」としての登録を受け付け、また、省エネルギー普及指導員からの各地域で行っている省エネルギー普及活動の報告をまとめました。

省エネルギー普及指導員のこれまでの登録者総数は、平成18年度末で計1,418名となりました。平成18年度の省エネルギー普及指導員の活動としては、6,494件の報告がありました。その活動内容は、省エネルギー相談、自治体等での講座・勉強会講師、自治体等が主催する省エネルギー・環境イベントでの普及推進活動の実施などで、多岐にわたる省エネルギー普及活動に携わっています。

○省エネルギー普及指導員の活動件数

地区	一般向け講座	学校での講座	イベント	表彰	委員	省エネ相談	その他	合計
北海道	82	21	72	8	51	66	69	369
東北	100	70	85	2	53	16	55	381
関東	551	394	524	22	165	190	387	2,233
東海	270	162	105	9	44	37	138	765
北陸	65	5	31	0	14	42	53	210
近畿	266	114	158	13	36	105	95	787
中国	102	15	98	4	38	114	97	468
四国	176	162	68	5	38	50	19	518
九州	123	127	82	2	34	256	139	763
合計	1,735	1,070	1,223	65	473	876	1,052	6,494